

## 新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、新たに下記の項目が受託可能となりましたのでご案内いたします。  
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

#### ■実施日 令和5年3月31日(金) ご依頼分より

#### ■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲(単位)	検体量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料	判断料	備考
0A69-02	甲状腺刺激抗体(TSAb)	Bioassay	110未満(%)	血液 3.0	X	室温	2~5	340	144(免疫)	※

※ 溶血でのご依頼は避けてください。(溶血検体では、測定値が低値となる可能性があります。)

#### ■受託中止項目

今回の新規受託開始に伴い、下記項目は令和5年3月30日(木)依頼分をもって受託中止とさせていただきます。

総合検査案内頁	項目コード	検査項目	検査方法	理由
p2	3436-02	TSAb(TSH刺激性レセプター抗体)	Bioassay EIA	試薬販売中止の為

詳細については裏面をご覧ください。

## ● 甲状腺刺激抗体 (TSAb)

甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病はTSH受容体抗体 (TRAb) によって発症します。TSH受容体抗体には刺激型と阻害型の2種類があり、このうち刺激型はTSH受容体に対してアゴニストとして作用し、甲状腺細胞膜中のadenylate cyclase活性を刺激し、甲状腺内のサイクリックAMP (cAMP) 産生を増加させるバセドウ病の原因物質と考えられます。甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

### ▼疾患との関連

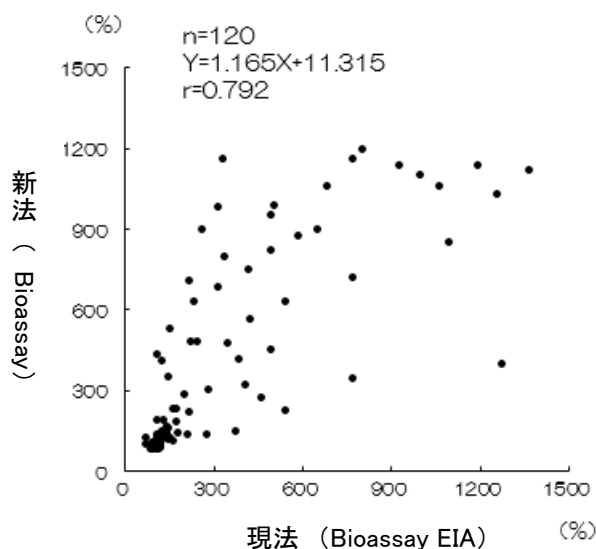
バセドウ病

### ▼関連する主な検査項目

TSHレセプター抗体(定量)  
TSBAb(TSHレセプター抗体[阻害型])  
TSHレセプター抗体[CLEIA]

## ● 相関図

### TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)



相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	50	0
	陽性	8	62

一致率: 93.3% (n=120)